平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月9日

上場会社名　コムシード株式会社　　上場取引所　名
コード番号　3739　URL　http://www.commseed.net/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 坂入　万弘
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネジャー　(氏名) 小倉　誠　TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	733	△13.0	14	△68.7	3	△92.1	0	△96.8
23年3月期第3四半期	842	△9.2	45	143.5	45	146.5	25	20.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.40	―
23年3月期第3四半期	671.03	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	825	610	73.9
23年3月期	859	609	71.0

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　610百万円　23年3月期　609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
現時点において、平成24年3月期の期末配当額は未定であります。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	△2.8	50	△0.2	47	△5.9	40	72.6	1,071.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	37,500 株	23年3月期	37,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	166 株	23年3月期	166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	37,334 株	23年3月期3Q	37,334 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成24年3月期の期末日における配当予想額は現時点で未定であり、今後の経営環境と業績等を総合的に勘案し、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに行う予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 4
第３四半期累計期間 …… 4
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 5
（４）セグメント情報等 …… 5
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
（６）重要な後発事象 …… 6
３．補足情報 …… 7
（１）販売実績 …… 7
（２）その他 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるモバイルコンテンツ市場は、スマートフォンの販売が大きく伸び、フィーチャーフォンからスマートフォンへの流れが一段と加速しております。また、国内のSNSプラットフォーム向けのソーシャルゲーム市場も引き続き堅調に推移し、さらなる拡大の兆しを見せております。

このような状況のもと、持続的な成長と企業収益力のさらなる基盤強化に向け、株式会社ワークジャムよりソーシャルゲーム事業の一部を譲り受けるとともに、グリー株式会社とはパチンコ・パチスロファン向けのソーシャルゲーム協業に関する契約を締結し、その企画・開発に注力いたしました。また、オンラインゲーム事業をトライアルとして実施いたしました。

以上の結果、当第３四半期累計期間における業績は、売上高733,670千円（前年同四半期比13.0％減）、営業利益14,325千円（前年同四半期比68.7％減）、経常利益3,592千円（前年同四半期比92.1％減）、四半期純利益798千円（前年同四半期比96.8％減）となりました。

セグメントについては、従来モバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、当第３四半期会計期間の取締役会にて、オンラインゲーム事業をトライアルとして実施すべく、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討を行う対象として追加したことで、報告セグメントを「モバイル事業」と「その他事業」に区分変更しております。

なお、当第３四半期会計期間より、単一セグメントから報告セグメントの区分を変更したため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。また、セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

①　モバイル事業

1）ソーシャルゲームについては、株式会社ワークジャムより譲り受けた「不思議の森のパン工房」により、サービスラインナップの拡充を図るとともに、グリー株式会社との協業によるパチンコ・パチスロファン向けソーシャルゲーム「グリパチ」の企画・開発に注力いたしました。なお、同「グリパチ」は本年１月23日よりサービスを開始いたしました。また、恋愛ソーシャルゲーム「eden*学園恋物語」のGREE版をリリースいたしました。

2）スマートフォン関連については、スロットアプリ「アントニオ猪木が元気にするパチスロ機」のiOS版を販売開始いたしました。また、NTTドコモのスマートフォン向けサイト「dメニュー」において、「パチンコ倶楽部」・「パーラーオリンピア」を提供するとともに、恋愛ソーシャルゲーム「eden*学園恋物語」のスマートフォン展開にも取り組み、既存のコンテンツの新プラットフォームへの対応を進めております。

3）フィーチャーフォン向け公式サイト関連については、「パチンコ倶楽部」においてパチンコ・パチスロの機種情報やそれらの攻略情報のさらなる充実化に取り組みました。また、メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行った他、人気の携帯アプリの早期配信など、引き続きサービスの拡充に取り組みました。

4）パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けＡＳＰサービス（有料店舗情報サービス）のラインナップ拡充、全国店舗への営業体制の強化を図った結果、契約店舗数は前年同期比で約22%増加いたしました。

以上の結果、当セグメントにおける売上高は733,670千円、セグメント利益は164,299千円となりました。

②　その他事業

その他事業におけるサービスについては、事業のポートフォリオによるリスク分散、ならびに新たな収益源としての効果を見極めるため、オンラインゲーム「ダークエデン」にてトライアル事業としてスタートさせ、当第３四半期会計期間においては同タイトルの広告宣伝活動により、認知度の向上に努めました。

以上の結果、当セグメントにおけるセグメント損失は16,864千円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて33,245千円減少し、825,802千円（前事業年度末比3.9％減）となりました。これは流動資産の減少53,662千円と固定資産の増加20,416千円によるものです。

（負債）

当第３四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて34,045千円減少し、215,420千円（前事業年度末比13.6％減）となりました。これは流動負債の減少30,828千円と固定負債の減少3,215千円によるものです。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて798千円増加し、610,381千円（前事業年度末比0.1％増）となりました。これは四半期純利益の計上によるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年５月12日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,679	422,477
売掛金	262,470	114,857
商品及び製品	8,170	5,840
原材料及び貯蔵品	9,073	6,890
その他	96,006	118,649
貸倒引当金	△30	△7
流動資産合計	722,370	668,708
固定資産		
有形固定資産	39,870	44,311
無形固定資産	4,581	27,898
投資その他の資産		
その他	124,155	125,264
貸倒引当金	△31,930	△40,380
投資その他の資産合計	92,225	84,884
固定資産合計	136,677	157,093
資産合計	859,047	825,802
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,132	49,033
前受収益	－	98,688
未払法人税等	2,192	2,188
本社移転費用引当金	6,900	－
その他	62,282	31,767
流動負債合計	212,506	181,677
固定負債		
退職給付引当金	13,925	11,538
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	3,704	2,875
固定負債合計	36,958	33,742
負債合計	249,465	215,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	568,883
利益剰余金	58,054	58,853
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	609,582	610,381
純資産合計	609,582	610,381
負債純資産合計	859,047	825,802

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	842,826	733,670
売上原価	510,439	425,871
売上総利益	332,387	307,798
販売費及び一般管理費	286,670	293,473
営業利益	45,717	14,325
営業外収益		
受取利息	108	73
その他	2	1
営業外収益合計	111	75
営業外費用		
支払利息	346	72
貸倒引当金繰入額	－	8,450
訴訟関連費用	－	2,285
営業外費用合計	346	10,808
経常利益	45,482	3,592
特別利益		
投資有価証券売却益	721	－
特別利益合計	721	－
特別損失		
本社移転費用引当金繰入額	11,707	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,883	－
本社移転費用	3,188	1,076
特別損失合計	19,779	1,076
税引前四半期純利益	26,424	2,516
法人税、住民税及び事業税	1,372	1,717
法人税等合計	1,372	1,717
四半期純利益	25,052	798

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年12月31日）
当社は、携帯電話等のモバイル端末向けコンテンツの企画・制作・配信と関連するサービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	733,670	－	733,670	－	733,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	733,670	－	733,670	－	733,670
セグメント利益又はセグメント損失（△）	164,299	△16,864	147,434	△133,109	14,325

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△133,109千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更に関する事項
当社は、従来モバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、当第３四半期会計期間の取締役会にて、オンラインゲーム事業をトライアルとして実施すべく、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討を行う対象として追加したことで、報告セグメントを「モバイル事業」と「その他事業」に区分変更しております。
なお、当該変更を反映した前第３四半期累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	842,826	－	842,826	－	842,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	842,826	－	842,826	－	842,826
セグメント利益又はセグメント損失（△）	176,027	－	176,027	△130,310	45,717

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△130,310千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。

３．補足情報

（１）販売実績

当第３四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

なお、当第３四半期会計期間より、単一セグメントから報告セグメントの区分を変更したため、前年同四半期との比較はおこなっておりません。

セグメントの名称	売上高（千円）	前年同四半期比（％）
モバイル事業	733,670	87.0
その他事業	―	―
合計	733,670	87.0

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２．モバイル事業による主な販売先は、一般ユーザーであります。

３．モバイル事業は、各携帯電話キャリア及びプラットフォーム提供会社の情報料回収代行サービスを利用して一般ユーザーに有料情報サービスを提供するものであります。前第３四半期累計期間及び当第３四半期累計期間の主要な売上は、次のとおりであります。

相手先	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）		当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	
	売上高（千円）	割合（％）	売上高（千円）	割合（％）
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	415,463	49.3	273,235	37.2
ＫＤＤＩ株式会社	225,428	26.7	147,695	20.1
ソフトバンクモバイル株式会社	104,123	12.4	57,448	7.8
株式会社バタフライ	―	―	52,689	7.2
グーグルペイメント株式会社	―	―	31,793	4.3

（２）その他

① 決算日後の状況

特記事項はありません。

② 訴訟

当社は、株式会社サーゴ・インターナショナルに対し、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」の公認WEBサイトの運営に関する許諾契約について、債務不履行による35,000千円のロイヤリティ返還請求の訴えを、平成21年11月18日に東京地方裁判所に提起し、平成23年11月７日に和解が成立いたしました。その後、和解条項に基づく返済が履行されず回収の長期化が懸念されることから、当第３四半期会計期間において貸倒引当金5,575千円を追加計上し、当該債権の全額について貸倒引当金を設定いたしました。